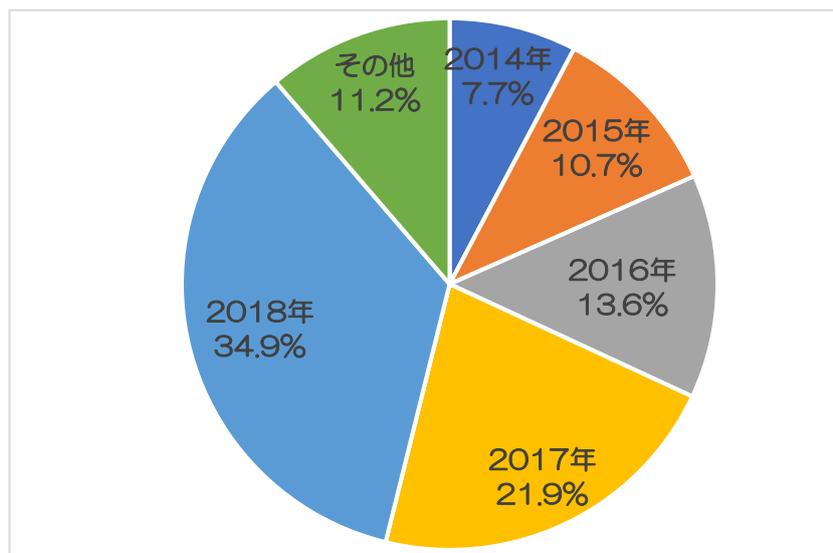


2022年度 本学の教育システムに関する既卒者からの意見聴取
アンケート集計（案） 有効回答数：169件

I. 基本情報

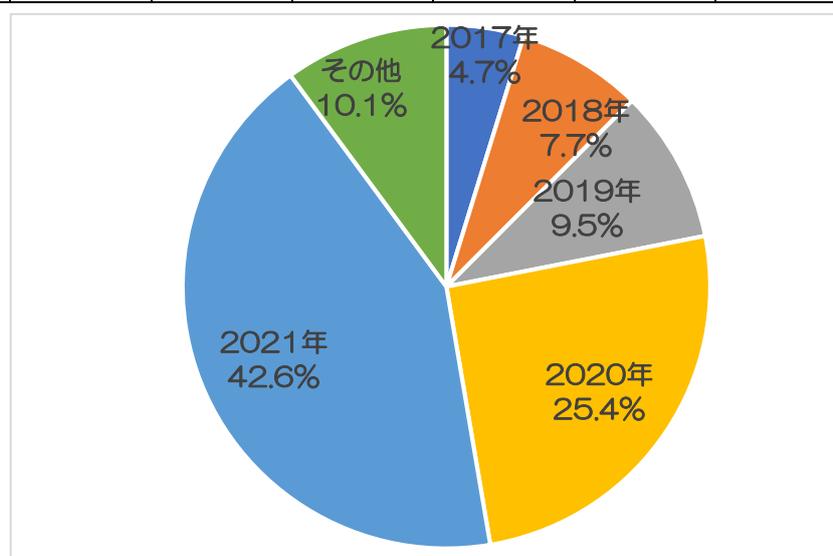
(1) 入学年度について

入学年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	その他	合計
回答者数	13	18	23	37	59	19	169
(%)	7.7%	10.7%	13.6%	21.9%	34.9%	11.2%	100%



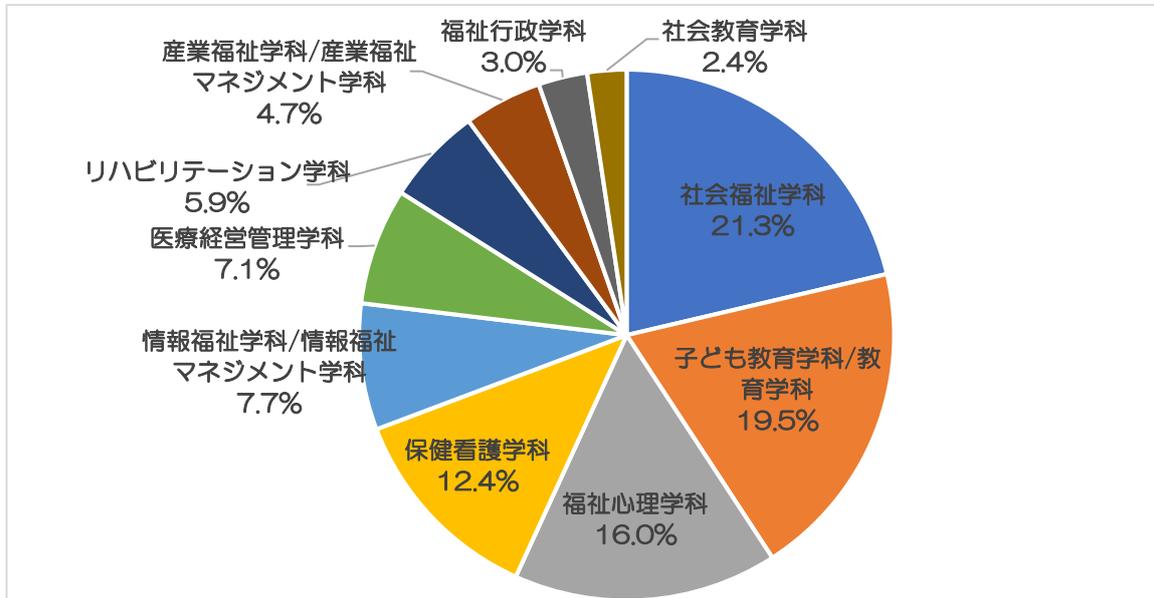
(2) 卒業年度について

入学年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	その他	合計
回答者数	8	13	16	43	72	17	169
(%)	4.7%	7.7%	9.5%	25.4%	42.6%	10.1%	100%



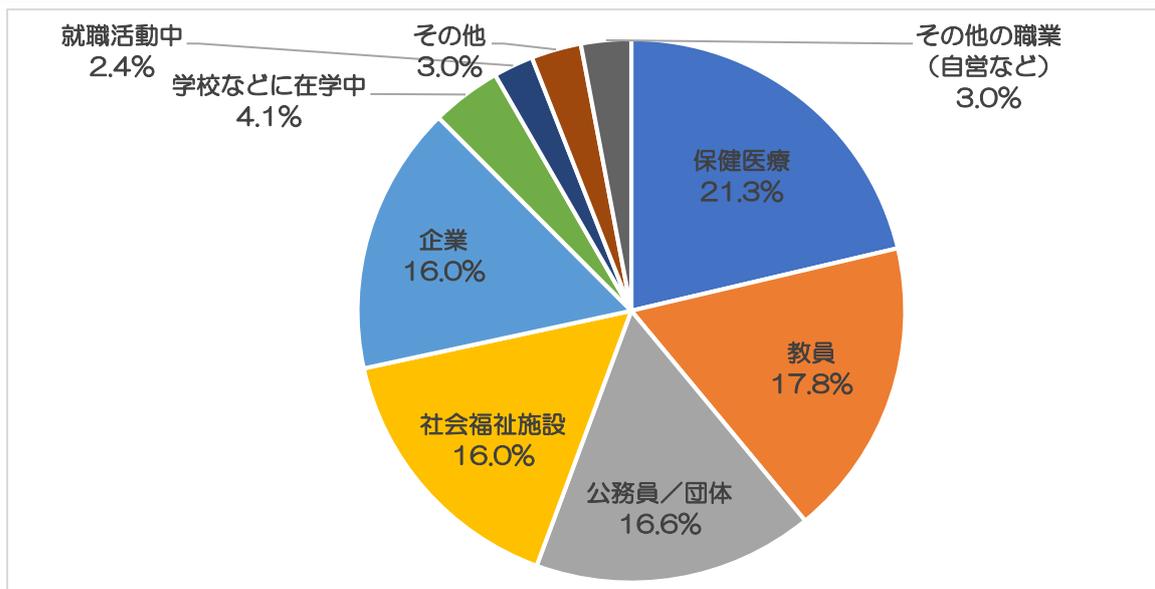
(3) 最終年度の所属学科について

学科	社会福祉学科	子ども教育学科/教育学科	福祉心理学科	保健看護学科	情報福祉学科/情報福祉マネジメント学科	医療経営管理学科	リハビリテーション学科	産業福祉学科/産業福祉マネジメント学科	福祉行政学科	社会教育学科	合計
回答者数	36	33	27	21	13	12	10	8	5	4	169
(%)	21.3%	19.5%	16.0%	12.4%	7.7%	7.1%	5.9%	4.7%	3.0%	2.4%	100%



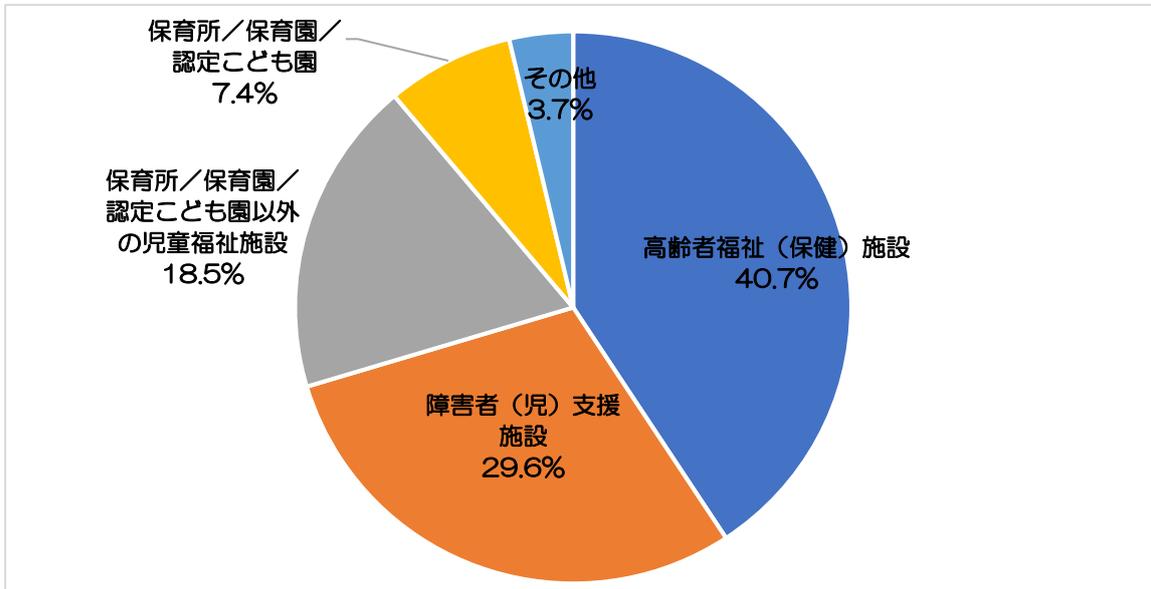
(4) 現在の業種等について

業種	保健医療	教員	公務員/団体	社会福祉施設	企業	学校などに在学中	就職活動中	その他	その他の職業(自営など)	合計
回答者数	36	30	28	27	27	7	4	5	5	169
(%)	21.3%	17.8%	16.6%	16.0%	16.0%	4.1%	2.4%	3.0%	3.0%	100%



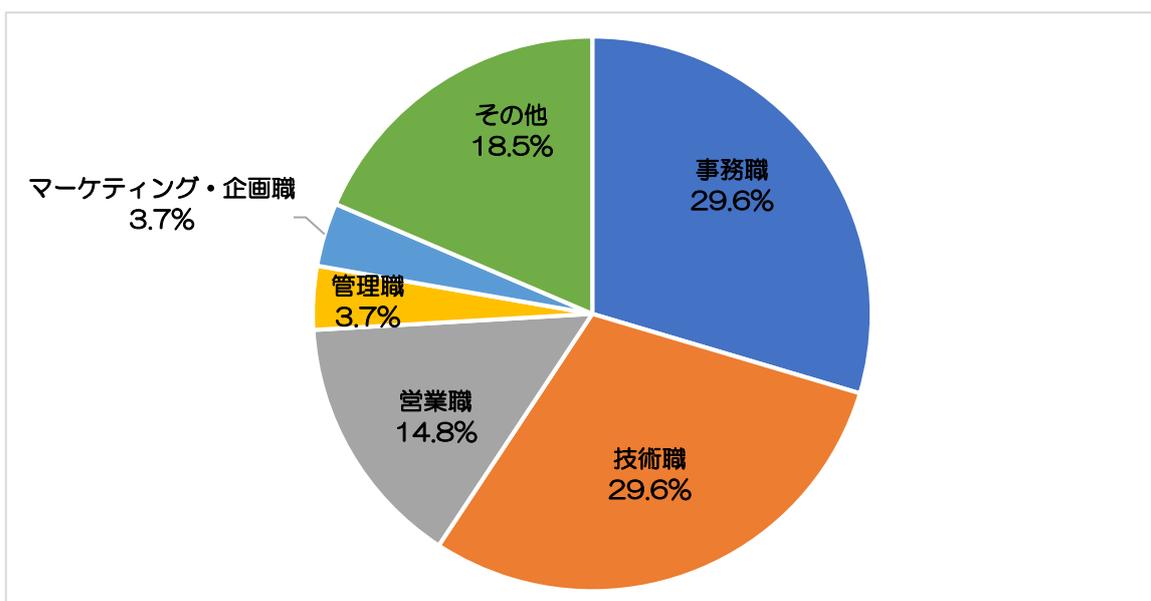
①「社会福祉施設」を選ばれた方の施設種類

施設	高齢者福祉（保健）施設	障害者（児）支援施設	保育所／保育園／認定こども園以外の児童福祉施設	保育所／保育園／認定こども園	その他	合計
回答者数	11	8	5	2	1	27
(%)	40.7%	29.6%	18.5%	7.4%	3.7%	100.0%



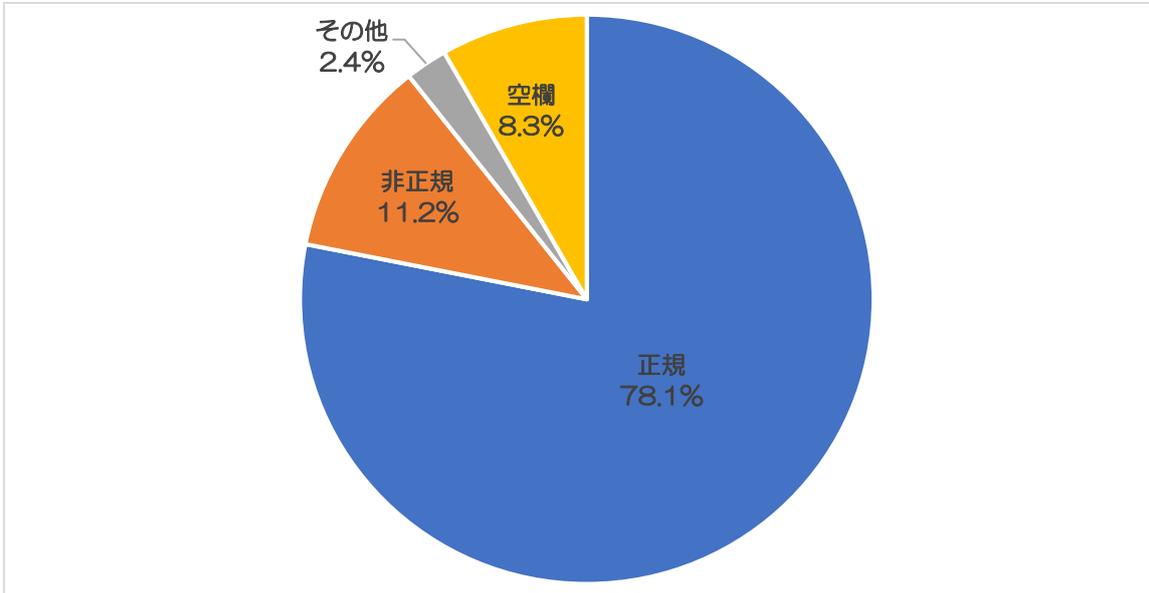
②「企業」を選ばれた方の職種

職種	事務職	技術職	営業職	管理職	マーケティング・企画職	その他	合計
回答者数	8	8	4	1	1	5	27
(%)	29.6%	29.6%	14.8%	3.7%	3.7%	18.5%	100.0%



(5) 現在の就業形態について

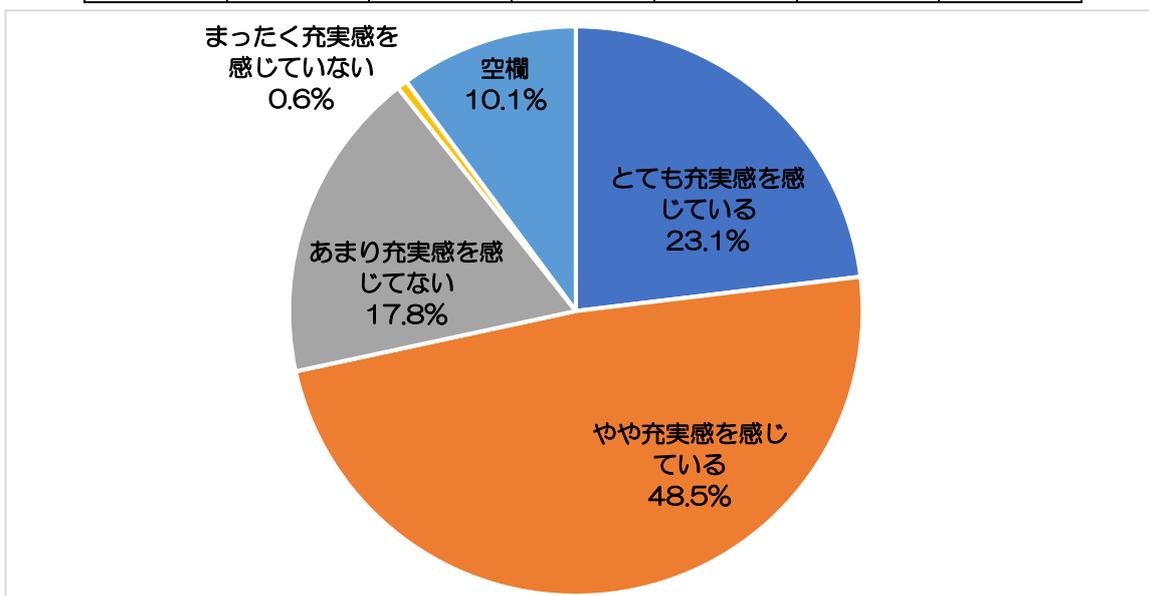
就業形態	正規	非正規	その他	空欄	合計
回答者数	132	19	4	14	169
(%)	78.1%	11.2%	2.4%	8.3%	100.0%



(6) 現在の仕事への充実感について

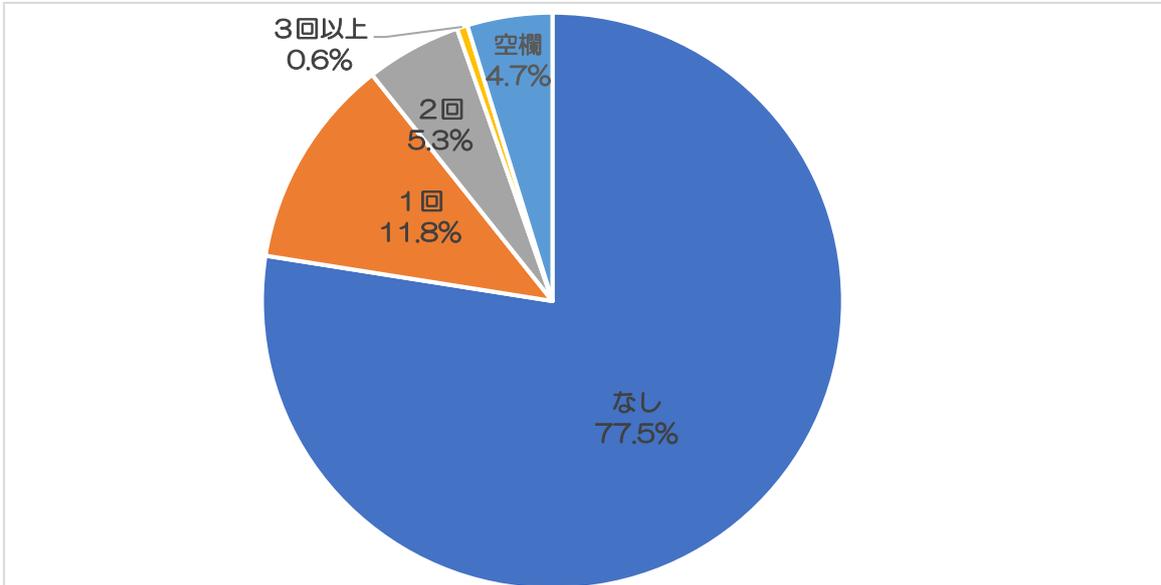
(職務・業務内容、給与条件、労働環境等、様々な側面を総合した充実感)

充実感	とても充実感を感じている	やや充実感を感じている	あまり充実感を感じてない	まったく充実感を感じていない	空欄	合計
回答者数	39	82	30	1	17	169
(%)	23.1%	48.5%	17.8%	0.6%	10.1%	100.0%



(7) これまでの離職歴について

離職歴	なし	1回	2回	3回以上	空欄	合計
回答者数	131	20	9	1	8	169
(%)	77.5%	11.8%	5.3%	0.6%	4.7%	100.0%



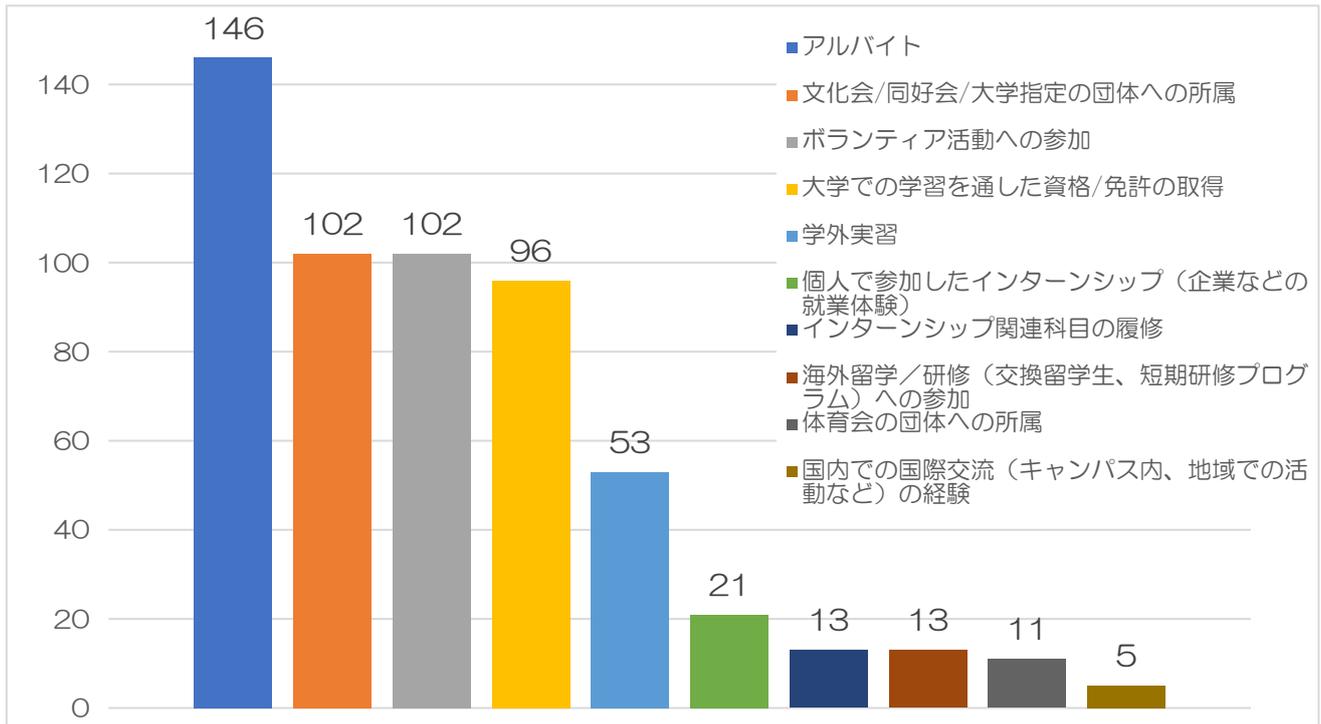
<「I. 基本情報」のまとめ>

- 卒業年度が近い順に回答数が多く、卒業後2年以内の卒業生が68%を占めた。
- 所属学科は多い順に、社会福祉学科、教育学科、福祉心理学科であった。
- 業種等は多い順に、保健医療、教員、公務員/団体であった。
- 社会福祉施設の種類は多い順に、高齢者福祉（保健）施設、障害者（児）支援施設であった。
- 企業の職種は多い順に、事務職、技術職、営業職であった。
- 就業形態について、正規が78.1%と多かった。
- 仕事に充実感を感じている割合は、「とても」と「やや」で計71.6%と高かった。
- 離職歴がない割合は77.5%と高かった。一方、17.7%は離職の経験があった。

Ⅱ. 在学中の大学生生活

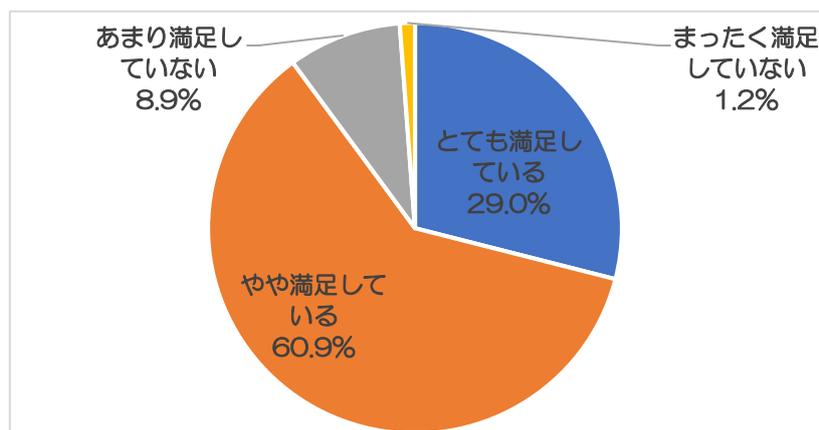
(1) 授業履修等以外の活動について（複数回答可）

授業以外の活動歴	アルバイト	文化会/同好会/大学指定の団体への所属	ボランティア活動への参加	大学での学習を通じた資格/免許の取得	学外実習	個人で参加したインターンシップ（企業などの就業体験）	インターンシップ関連科目の履修	海外留学/研修（交換留学生、短期研修プログラム）への参加	体育会の団体への所属	国内での国際交流（キャンパス内、地域での活動など）の経験	合計
回答者数	146	102	102	96	53	21	13	13	11	5	562
(%)	26.0%	18.1%	18.1%	17.1%	9.4%	3.7%	2.3%	2.3%	2.0%	0.9%	100%



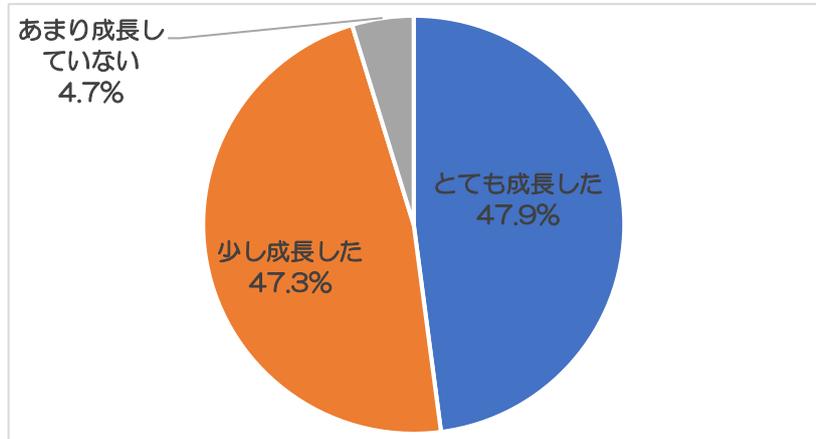
(2) 大学生生活への満足度について

	とても満足している	やや満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
回答者数	49	103	15	2	169
(%)	29.0%	60.9%	8.9%	1.2%	100.0%



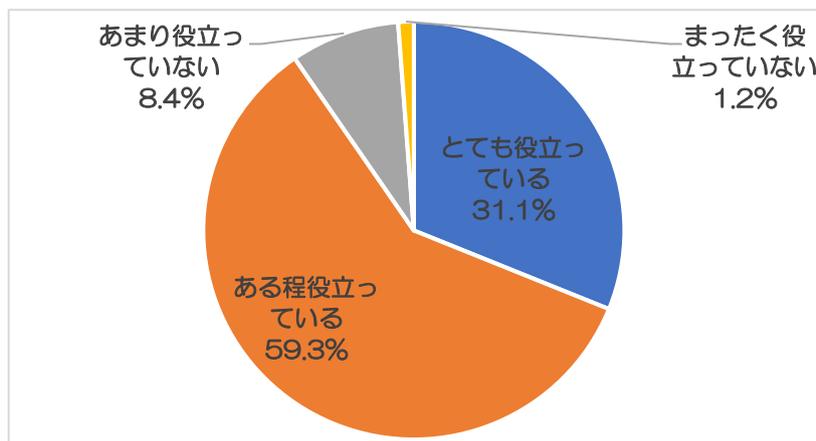
(3) 在学中の学びと経験を通じた成長について

	とても成長した	少し成長した	あまり成長していない	まったく成長していない	合計
回答者数	81	80	8	0	169
(%)	47.9%	47.3%	4.7%	0.0%	100.0%



(4) ①社会生活やキャリア形成への影響（大学での学びや活動体験・経験）について

	とても役立っている	ある程度役立っている	あまり役立っていない	まったく役立っていない	空欄	合計
回答者数	52	99	14	2	2	169
(%)	30.8%	58.6%	8.3%	1.2%	1.2%	100.0%



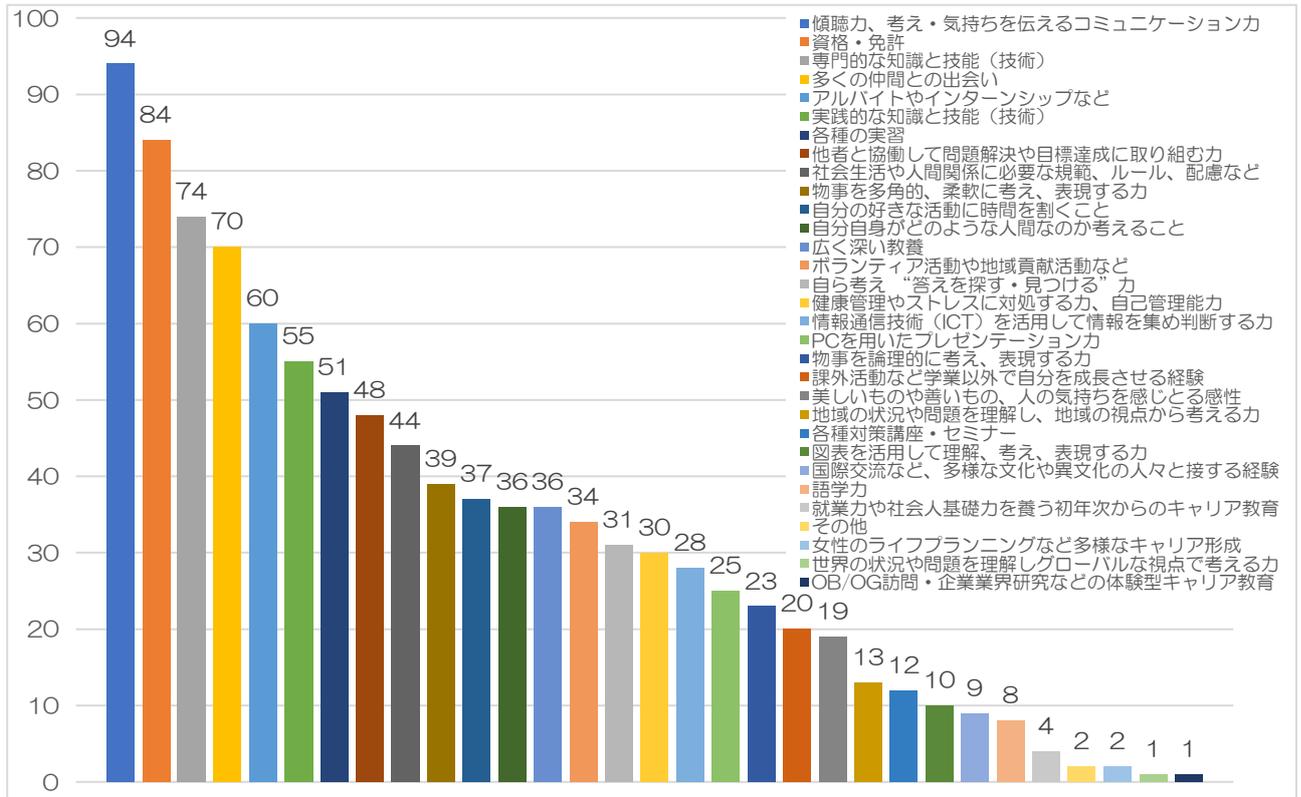
②社会生活やキャリア形成へ役立った、学びや経験の内容（複数回答可）

	傾聴力、考え・気持ち伝えるコミュニケーション力	資格・免許	専門的な知識と技能（技術）	多くの仲間との出会い	アルバイトやインターンシップなど	実践的な知識と技能（技術）	各種の実習	他者と協働して問題解決や目標達成に取り組む力	社会生活や人間関係に必要な規範、ルール、配慮など
回答者数	94	84	74	70	60	55	51	48	44
(%)	9.4%	8.4%	7.4%	7.0%	6.0%	5.5%	5.1%	4.8%	4.4%

	物事を多角的、柔軟に考え、表現する力	自分の好きな活動に時間を割くこと	自分自身がどのような人間なのか考えること	広く深い教養	ボランティア活動や地域貢献活動など	自ら考え“答えを探す・見つける”力	健康管理やストレスに対処する力、自己管理能力	情報通信技術（ICT）を活用して情報を集め判断する力	PCを用いたプレゼンテーション力
回答者数	39	37	36	36	34	31	30	28	25
(%)	3.9%	3.7%	3.6%	3.6%	3.4%	3.1%	3.0%	2.8%	2.5%

	物事を論理的に考え、表現する力	課外活動など学業以外で自分を成長させる経験	美しいものや善いもの、人の気持ちを感じる感性	地域の状況や問題を理解し、地域の視点から考える力	各種対策講座・セミナー	図表を活用して理解、考え、表現する力	国際交流など、多様な文化や異文化の人々と接する経験	語学力	就業力や社会人基礎力を養う初年次からのキャリア教育
回答者数	23	20	19	13	12	10	9	8	4
(%)	2.3%	2.0%	1.9%	1.3%	1.2%	1.0%	0.9%	0.8%	0.4%

	その他	女性のライフプランニングなど多様なキャリア形成	世界の状況や問題を理解しグローバルな視点で考える力	OB/OG訪問・企業業界研究などの体験型キャリア教育	合計
回答者数	2	2	1	1	1000
(%)	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	100%

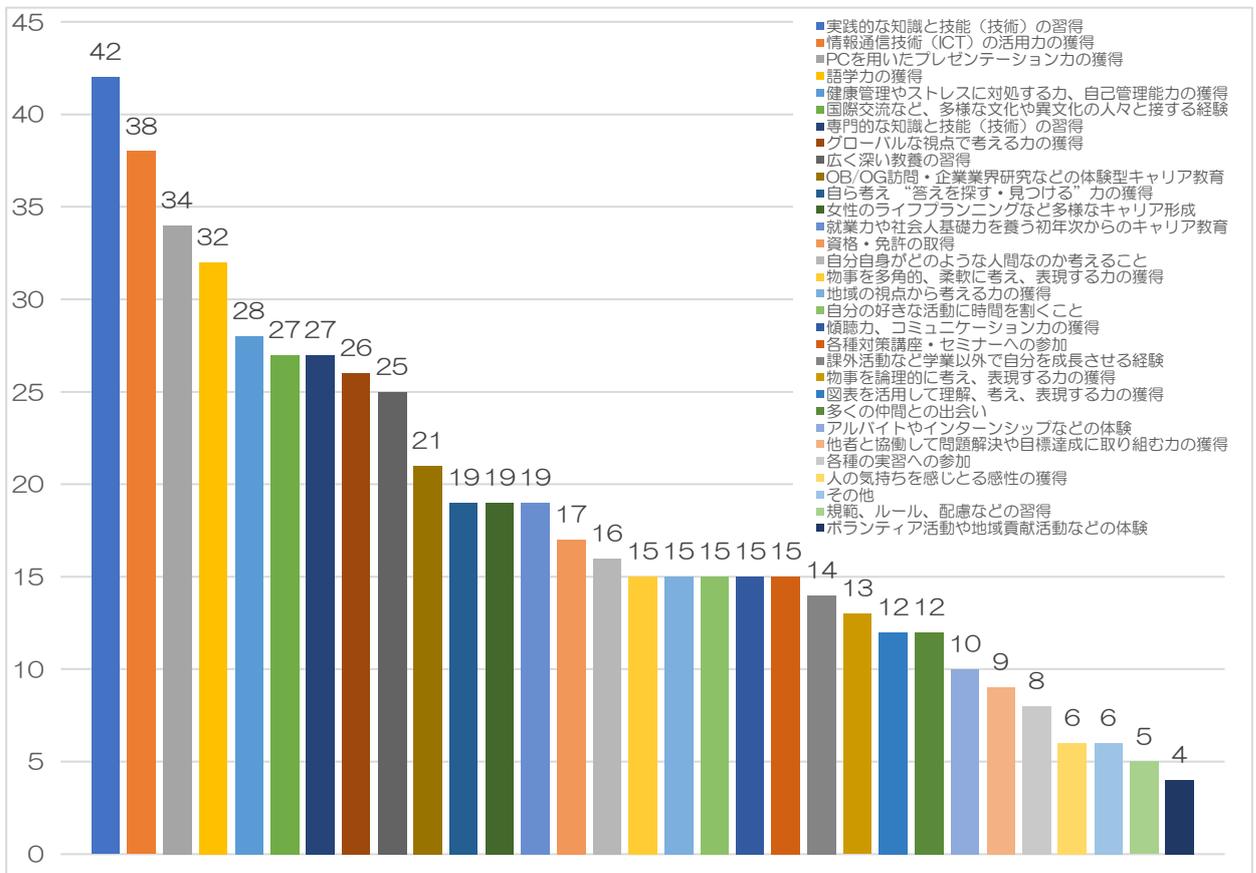


○「その他」を選択された方（自由記述）

- ・大学院講義やゼミなどで、近距離で教授と雑談すること。
- ・様々な領域を専門とする大学教員の方々の研究室訪問

(5) 在学中の学習・経験の中で「足りなかった」「大学からの支援としてもっと力を入れてほしかった」と思うこと（複数回答可）

	実践的な知識と技能（技術）の習得	情報通信技術（ICT）の活用力の獲得	PCを用いたプレゼンテーション力の獲得	語学力の獲得	健康管理やストレスに対処する力、自己管理能力の獲得	国際交流など、多様な文化や異文化の人々と接する経験	専門的な知識と技能（技術）の習得	グローバルな視点で考える力の獲得	広く深い教養の習得
回答者数	42	38	34	32	28	27	27	26	25
(%)	7.4%	6.7%	6.0%	5.7%	5.0%	4.8%	4.8%	4.6%	4.4%
	OB/OG訪問・企業業界研究などの体験型キャリア教育	自ら考え“答えを探す・見つける”力の獲得	女性のライフプランニングなど多様なキャリア形成	就業力や社会人基礎力を養う初年次からのキャリア教育	資格・免許の取得	自分自身がどのような人間なのか考えること	物事を多角的、柔軟に考え、表現する力の獲得	地域の視点から考える力の獲得	自分の好きな活動に時間を割くこと
回答者数	21	19	19	19	17	16	15	15	15
(%)	3.7%	3.4%	3.4%	3.4%	3.0%	2.8%	2.7%	2.7%	2.7%
	傾聴力、コミュニケーション力の獲得	各種対策講座・セミナーへの参加	課外活動など学業以外で自分を成長させる経験	物事を論理的に考え、表現する力の獲得	図表を活用して理解、考え、表現する力の獲得	多くの仲間との出会い	アルバイトやインターンシップなどの体験	他者と協働して問題解決や目標達成に取り組む力の獲得	各種の実習への参加
回答者数	15	15	14	13	12	12	10	9	8
(%)	2.7%	2.7%	2.5%	2.3%	2.1%	2.1%	1.8%	1.6%	1.4%
	人の気持ちを感じとる感性の獲得	その他	規範、ルール、配慮などの習得	ボランティア活動や地域貢献活動などの体験	合計				
回答者数	6	6	5	4	564				
(%)	1.1%	1.1%	0.9%	0.7%	100%				



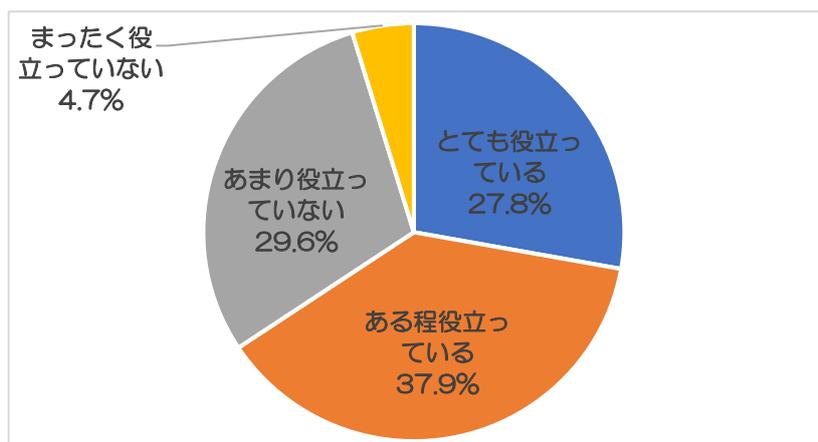
○「その他」を選択された方

自由記述(計 10)から抜粋・要約

- ・大学院進学についての情報が提供されると良かった。
- ・教育実践活動は、小学校の先生になる上で欠かせないもの、福祉大の最大の強み、小学校現場は学生を待っている、復活して欲しい。
- ・学部の授業に、全然専門外のゲスト講師を呼び込む。専門性が強すぎて、視野が狭すぎる。アルバイトやサークルで、偶然ごちゃ混ぜコミュニティに入れた人は、深みがでる。
- ・自分の得意不得意に気付ける経験。
- ・社会福祉士・精神保健福祉士の実習を4年次ではなく、3年次に終えるべきだと思う。それにより、就職活動のことを気にせずに集中して実習に取り組むことができる。より学びの多い実習になると考える。
- ・周囲の人々からのアドバイス等を真面目に全て受け止めず、自分の考えと合わせて判じ、自分らしく働いていく基礎づくり。上手に折り合いをつけていく方法を簡易的にでも知っておきたいと感じたため。
- ・就職活動において、OBOG 訪問のハードルをもっと低くしてほしかった。例えば、卒業生の就職した企業等の一覧があり、その卒業生の連絡先が誰でもみれるようになっており、メール等で簡単に連絡が取れる等。
- ・電子カルテを学生のうちから扱いたかった。今思うと現場と学校のギャップが激しい。
- ・入講できない期間の講義、自主学習支援。

(6) ①社会生活やキャリア形成への影響(大学で得た人とのつながりや人脈)について

	とても役立っている	ある程度役立っている	あまり役立っていない	まったく役立っていない	合計
回答者数	47	64	50	8	169
(%)	27.8%	37.9%	29.6%	4.7%	100.0%



②社会生活やキャリア形成へ役立った、人とのつながりや人脈の内容

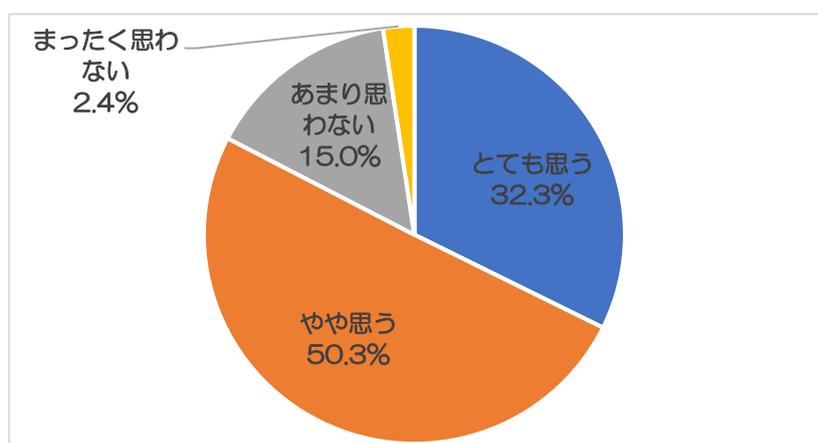
○自由記述(計 31)より抜粋・要約

- ・同じ学科の友人、実習を共に乗り越えた仲間、他学科の友人
- ・サークルの先輩、後輩

- ・ゼミ担当教員
- ・教務部
- ・職場にいる大学の先輩
- ・在学時の実習先
- ・体育会所属のつながり
- ・ボランティア仲間、ボランティアでお世話になった方
- ・より専門的な知識を持った人
- ・アルバイト先の先輩 など

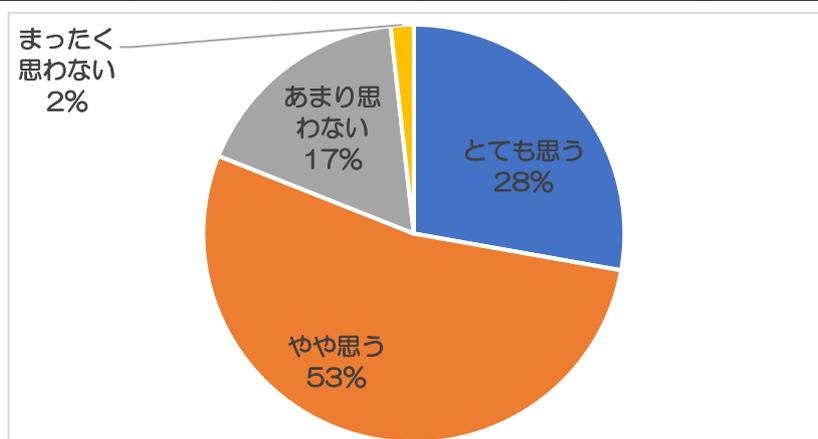
(7) 東北福祉大学に在学したことへの誇りについて

	とても思う	やや思う	あまり思わない	まったく思わない	空欄	合計
回答者数	54	84	25	4	2	169
(%)	32.0%	49.7%	14.8%	2.4%	1.2%	100.0%



(8) 大学への進学を希望する方に、東北福祉大学を進めたいと思うか

	とても思う	やや思う	あまり思わない	まったく思わない	合計
回答者数	47	90	29	3	169
(%)	27.8%	53.3%	17.2%	1.8%	100.0%



(9)東北福祉大学の今後の教育・活動への改善内容や要望について

○自由記述(計 64)より抜粋・要約

1)科目や履修に関すること

- ・1度に履修できる単位数の上限を増やしてほしい。
- ・4年間を通してコースが存在する資格について(公認心理師資格など)、卒業時点でコースに入ってしまったため出来なかったことや選択できなかった進路があったため(公認心理師の給与面の現実や雇用倍率、公認心理師課程にいたため精神保健福祉士のコースにはならなかったことなど)、説明会の時点でメリットだけでなくデメリットも説明していただきたいかった。
- ・ICT教育に力を入れること、リモート授業での福祉大の良さをアピールすること。
- ・学校で働いていて、ICT活用の経験の薄さが目立つ。もっとICTを駆使した授業づくりや、そもそもの実践的なパソコン操作(excel、PowerPointなど)(仕事によって使う頻度も場面の違いを踏まえ)を学習できる機会があるとよい。
- ・英語など語学力を伸ばせるような授業・活動があると良い。
- ・後輩のためにも、社会福祉士、精神保健福祉士の実習は3年次に終わるようにカリキュラムを組んでほしい。
- ・実践系を増やして欲しい。
- ・教育実践活動の復活(福祉大の強みです！)
- ・メンタルケアやセルフチェックの方法については講義等で詳しく教えていただいたため、それらと併せて特殊な現場の人間関係の在り方や折り合いのつけ方も教えていただきたい。
- ・健康についての講座を取り入れること。
- ・養護教諭の教育実習の機会を増やすこと。
- ・普通の大学と同様な、経済法律経営などを強化できると社会でより役立つと思う。

2)キャリア支援に関すること

- ・キャリア支援について、女性に特化したものだけではなく、男性、女性、またそれぞれに属しない、そしてそれらを複合的にもっている等個々の性自認により配慮した支援があると嬉しいなと思った。
- ・具体的な仕事術を教えてほしい。何か強みになる教科ができるとなお良い。
- ・4年次での就職活動においても、印象が悪い。後輩が安心して実習、就職活動等に取り組める環境にしてほしい。
- ・就職活動の支援。簡単にOBOG訪問ができる体制を整えてほしい。
- ・卒業生から在学生へ向けて何か就職の手助けができるなら、相談に乗ったり、お話をしたりするような機会があっても良いと思う。
- ・社会に出た後の話をもっと聞きたかった。在学中に自分の知識・見識を深めた上で進路を決めたかったと感じる。

3)大学運営に関すること

- ・コロナでの学費の返還、設備費など
- ・学生たちの声を聞いて授業などに活かす。

- ・学生がどんどん学校に来て欲しい。
- ・教務と教員の間での情報を統一してほしい。
- ・通学路の交通規制がとても煩わしかったので通れるようになってるといいなと思う。
- ・アンケートの意見を反映し、改善してほしい。
- ・今まで通り、素敵な教授や仲間が集う場所であってほしい。
- ・東北福祉大学という看板を掲げて利用している場所で少し常識的ではないんじゃないかという話や光景を見て周りから注意されている。顧問の先生などから指導してほしい。
- ・パン屋など学食の充実さが日々の楽しみの1つとなっていたので、是非再開してほしい。
- ・自分から学ぼうとする姿勢を学生の内に教育させた方が良い。
- ・主体性を持って活動できるよう学生側と学校側とでコミュニケーションを密に行う。例えば変更したいことを大学だけで決めず、学生側の意見を聞いてから変更する、など。
- ・本の量。図書館にしても、もっと奥から引っ張ってきていいと思う。また、盗まれてもいくらかの覚悟で、校舎のどこにでも本を置くといいかも知れません。

(10)卒業生に向けた現在および今後必要な支援やサービスについて

○自由記述(計 24)より抜粋・要約

1)キャリア支援に関すること

- ・卒後支援を考えられているならば、コロナ禍においても学内における先生方との接触も許可していただきたい。
- ・資格取得後、さらに申請可能な資格に必要な書類を予め予約可能だと快適だと思った。
- ・就職サイトの活用方法
- ・就職活動を思うようにできない卒業生に対してアンケートを実施し、希望に近い職業を紹介していく支援が欲しい。
- ・就職後の支援、状態把握。悩み、不安等のサポート。
- ・集団で就職してからの近況報告を行う機会があったが、それとは別に辛い思いや悩みを抱えたメンバーのみが参加する相談室のようなものも欲しい。似たような悩みを持つ新社会人同士で話し合う機会があると気持ちが軽くなるかもしれないと思った。
- ・転職支援、離職時における転職活動

2)先輩や教員との交流に関すること

- ・またお世話になった先生にお会いしたい。
- ・卒業後に困ったことがあったときなど気軽に相談できるような場があればいいと思う。
- ・卒業生と在学生の交流の場
- ・卒業生の希望を募って、在生たちの就職・資格・勉強等の質問や相談、また後悔・失敗談等話をしたり、相談に乗ってあげたい。
- ・卒業生の同窓会の企画
- ・大学が窓口となり、専門職同士で集まる機会を作り、卒業後でも同大学卒業生をきっかけとしたコミュニティを作ることで、コネクション作りをしてみたら在生にも卒業にもメリットがあるものが作れそうかなと思った。
- ・卒業生に聞き取りを定期的に行い、就職前の情報に役立ててもらえればと思う。
- ・こんな先輩がいるから一度話を聞いてみるといい、といった支援があるとよい。

- ・分野問わず卒業生同士のコミュニティがあってもいいと思う。そこで得た情報はきっと自分の知識を深めるきっかけになり、専門性を高めていくきっかけになると思う。
- ・在学中も社会人であっても、やるべきことは学びを継続する機会を設けること、その支援や機会を提供してほしい。また、先生方の話も卒業後にもっと聞いてみたい。

3)情報提供に関すること

- ・PC修理で伺うのが、コロナ禍もありアポのとり方から情報共有して頂けると嬉しい。
- ・自分が所属していた団体の活動と実績を知りたい。
- ・卒業後も専門書を読める環境があると、実際の支援場面に照らし合わせた学びをさらに深めることができるため、図書館を卒業生向けに開放してほしい。
- ・卒業生に向けて、どのような支援やサービスがあるのか知らせてほしい。
- ・配布されたPCの支援

(11)大学が卒業生に向けた支援やサービスをする上での改善点や効果的な方法について

○自由記述(計9)

- ・こういうアンケートを定期的実施する。在学生の求める事柄を、多角的に審査する。
- ・今回のメールなどを活用した情報発信。
- ・定期的に連絡をいただければ、目を通す機会も増えると思う。
- ・卒業生に向けた取り組みの紹介を大学のサイトだけでなくメール等でもみてみたい。
- ・卒業後も大学と関わりたい人を募ってみる。各地域で福祉大OB交流の場を設ける。
- ・福祉大生に自分の職場を紹介したいがどこにどうやって連絡したら良いかわからない。
- ・もっと働きやすい職業を増やしてほしい。
- ・卒業生がブラック会社だと感じた就職先の情報共有。

<「Ⅱ. 在学中の大学生活」のまとめ>

- ・授業履修等以外の活動について多い順は、アルバイト、文化会/同好会ほか、ボランティア活動、資格/免許の取得、であった。
- ・大学生活への満足度は、「とても」と「やや」で計89.9%と高かった。一方、「あまり」と「まったく満足していない」が計10.1%おり、この数を減らすのが大学の課題である。
- ・在学中の学びと経験を通じた成長は、「とても」と「少し」で計95.2%と高かった。
- ・社会生活やキャリア形成への影響は、「とても」と「少し」役立っているが計89.4%と高かった。役立った内容の多い順は、コミュニケーション力、資格・免許、専門的な知識と技能(技術)、多くの仲間との出会い、であった。その他、大学教員との雑談などがあつた。
- ・在学中もっとほしかった支援の多い順は、実践的な知識と技能(技術)の習得、情報通信技術(ICT)の活用力の獲得、PCを用いたプレゼンテーション力の獲得、であった。その他、大学院進学についての情報提供、専門外の授業聴講、実習時期の変更などがあつた。
- ・大学で得た人脈は、「とても」と「ある程度」役立っているが計65.7%であった。
- ・在学した誇りは、「とても」と「やや」思うで計81.7%と高かった。
- ・本学への進学をすすめたいと思うは、「とても」と「やや」で計81.1%と高かった。
- ・要望として、在学生と既卒生との交流・情報共有、ICT教育や語学の強化、実習の機会を増やす、アンケートの実施とそれに基づく改善、就職後の支援、などがあつた。